

福山市の市民団体「KOREFUKU」は2月5日、福山城天守前広場(同市丸之内)で豆まきイベント「福まき」を3年ぶりに開く。例年1月上旬に「日本一早い豆まき」として大勢でにぎわってきたが、新型コロナウイルスの影響で中止してきた。今年は会場の都合で遅めの開催となったが、「久しぶりに『福』を手にしてほしい」と参加を呼びかけている。

イベントは午前10時から、10時半から3回に分け、菓子製造の徳永製菓(同市胡町)が協賛した袋入りの豆1万個や、市内の店舗で使える割引券400枚をステージなどからまく予定。太鼓ユニット「我龍」の演奏や、高校生パフォーマー「大道芸人S4」のステージもある。

子ども向けの豆まき広場も初めて設ける。定員は1回100人で、身長1.4m以下の子どもの対象。同市駅家町服部地区の小中高生が運営に携わる。

「『コロナ退散』の願いを込めて豆をまいて」と同社の上迫豊社長。団体事務局の藤田順子さん(53)は「今年では日本一遅い豆

コロナ退散願 3年ぶり豆まき

3年ぶりの開催に向け、豆まきの豆や箱を準備する徳永製菓の従業員たち



まきとなるかもしれないが、若者男女で楽しんでほしい」と話している。

市内の神社でも今年では豆まきが復活する。北吉津町の良神社では1月29日午後2時20分から、草戸町の草戸稲荷神社では2月3日午前11時から開催。新市町の吉備津神社では同日夜、恒例のほら吹き神事に先立ち豆まきをする。(原末緒)

福山の市民団体が来月5日 ステージや子ども広場も

世界の観光地を紹介するオンライン授業が23日、神石高原町井関の来見小であった。旅行大手の阪急交通社(大阪市北区)と教室をインターネットで結び、全校児童66人が世界旅行の気分を味わった。

同社の野田三添乗員が写真と動画を用いて各地を案内した。米國をスタートし、ニューヨークのタイムスクエアやラスベガスの街並みを見た後、欧州、北歐、東南アジアを股にかけ、最後はアフリカのサバンナの

動物を見学。水で造られたホテルなど珍しい施設や各国のグルメが映されると、児童は「すごい」「おなかすいた」と声を上げた。名所について問うクイズにも挑戦した。

旅行や海外に関心を持ってもらうため同社が展開する「阪急たびコト塾」のプログラムで、県内では初めて、4年山内美呼さん(10)は「自由の女神を見に行きたくなった」と興味を募らせていた。

(猪股修平)

動画・写真活用 教室で世界旅行気分



動画は中国新聞デジタルで

世界の観光地をモニター越しに楽しむ児童

日本とフランスの著名画家31人が尾道を題材に描いた作品展「尾道の風景が、尾道市潮見町のなかなた美術館で開かれている。1930年代から2000年代の50点を展示し、2月19日まで。

日仏の著名 カシニョール



「晩暮りさん」と呼ばれる女性を独特の暗い色彩で表現している。

「たまに尾道の魅力を感じ取ってほしい」と国近有佑子学芸員。2月5日午後2時からは、画家たちが描いた場所を巡るフィールドワークを開く。

月曜休館。一般800円、学生300円、小学生以下無料。フィールドワークは高校生以上が対象、定員15

ピープル

「お客さまの財産を守ることができてよかった」と振り返るのは、万能倉郵便局(福山市駅家町)の職員行武藍瑠さん(22)＝同市吉田町。昨年10月下旬に特殊詐欺の被害を防いだとして、福山北署から感謝状を贈られた。

同月24日午後2時ごろ、貯金窓口で業務をしていると、ATMの前で電話をかける高齢者の女性に

迅速な対応で 特殊詐欺防ぐ



「おかしい」と気づいた瞬間、迅速に金10万円を戻した。感謝状をいただきました。



社会人を生かす大人で

し20歳を迎える有志14人の中から青年代表に立候補。約4カ月間、

迅速な対応で特殊詐欺を防ぐ